第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	1	政策	1	施策	① 水産業の振興	担当課・係	水産商工観光課水産係・企画課企画防災係

現行					見直し後																																	
成果目標					成果目標																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし</th> <th>単位</th> <th>現状 (令和元年度)</th> <th>中間目標 (5年後：R7年度)</th> <th>最終目標 (10年後：R12年度)</th> <td colspan="2" rowspan="6">※見直し項目なし</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雑海藻駆除面積（重機、SK7-7P）【単年】</td> <td>ha</td> <td>2.5</td> <td>3.5</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>マツカワ種苗放流数【単年】</td> <td>匹</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <th>成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし</th> <th>単位</th> <th>現状 (平成30年度)</th> <th>中間目標 (5年後：R7年度)</th> <th>最終目標 (10年後：R12年度)</th> </tr> <tr> <td>コンブ生産量【単年】</td> <td>トン</td> <td>86</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ウニ生産量【単年】</td> <td>トン</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>					活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	※見直し項目なし		雑海藻駆除面積（重機、SK7-7P）【単年】	ha	2.5	3.5	3.5	マツカワ種苗放流数【単年】	匹	50,000	50,000	50,000	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	コンブ生産量【単年】	トン	86	100	100	ウニ生産量【単年】	トン	19	20	20		
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	※見直し項目なし																																	
雑海藻駆除面積（重機、SK7-7P）【単年】	ha	2.5	3.5	3.5																																		
マツカワ種苗放流数【単年】	匹	50,000	50,000	50,000																																		
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)																																		
コンブ生産量【単年】	トン	86	100	100																																		
ウニ生産量【単年】	トン	19	20	20																																		

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. 食育及び水産業への理解を高める取組を行う。 （主体：漁協青年部、女性部、各生産部会、指導漁業士） 子ども達が、食べ物の生産現場を間近で見たり、魚のさばき方教室やふるさと給食などを通して水産業を学んだりして、将来の担い手となることが期待される子ども達の食や水産業に対する理解と関心を高める。	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） （継続的事業へ移行）	

現行	見直し後	摘要
2. 漁業資源を確保するための新たな技術の導入を検討する。 (主体：漁協、町) 漁業資源減少への対策として、<u>ウニの餌となるコンブの着生試験などの実証試験を実施し、新たな栽培漁業の導入を検討する。</u> <関連する重点プロジェクト> ②「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト ■<u>10年間で継続して取り組むもの（継続的事業）</u> - ウニ増殖をはじめとした資源管理型漁業を推進する。 (主体：漁協、町) - コンブ増産のため、コンブ生育の障害となる雑海藻の駆除を継続的に実施する。(主体：漁協、町) - 水産物の付加価値向上のため、市場施設の整備などに取り組む。 (主体：漁協、町) - 漁村の価値を再認識し、都市部の住民や次代を担う子どもたちにその魅力を伝えるため、子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する。(主体：ホームステイ受入協議会)	1. 漁業資源を確保するための新たな技術の導入を検討する。 (主体：漁協、町) 漁業資源減少への対策として、<u>令和3年度から十勝港港湾区域内で取り組んでいるウニ養殖の企業化に向けての実証試験を引き続き実施する。また、近年の海水温上昇など海洋環境の変化に対応した高温耐性株のコンブ着生試験を実施するなど、新たな栽培漁業の導入を図る。</u> <関連する重点プロジェクト> ②「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト ■<u>_____</u>継続して取り組むもの（継続的事業） - ウニ増殖をはじめとした資源管理型漁業を推進する。 (主体：漁協、町) - コンブ増産のため、コンブ生育の障害となる雑海藻の駆除を継続的に実施する。(主体：漁協、町) - 水産物の付加価値向上のため、市場施設の整備などに取り組む。 (主体：漁協、町) - 漁村の価値を再認識し、都市部の住民や次代を担う子どもたちにその魅力を伝えるため、子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する。(主体：ホームステイ受入協議会) - <u>食育及び水産業への理解を高める取組を行う。</u> (主体：漁協青年部、女性部、各生産部会、指導漁業士)	取組の進捗状況等を踏まえて取組内容を修正 短期的事業から移行

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	1	政策	1	施策	② 農業の振興	担当課・係	農林課農政林務係・企画課企画防災係

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
広尾産オリジナル製品の開発件数【累計】	件	—	1	2	広尾産オリジナル製品の開発件数【累計】	件	—	1	2
畜産系バイオマス関連施設整備基数【累計】	基	二	1	2	(削除)				
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
生乳生産量【単年】	トン	59,497	63,000	63,000	生乳生産量【単年】	トン	67,000(R6)	~~63,000~~	71,200
新規就農者数【単年】	戸	1	3	5	新規就農者数【単年】	戸	1	3	5
					(見直し理由) (畜産系バイオマス関連施設整備基数) ・ヨーネ病が終息していない現状では、当初想定していた集中処理施設の推進は困難なことから、関連する短期事業5「家畜ふん尿を資源として有効活用する」を継続事業と併合することに伴い、指標も削除する。 (生乳生産量) ・現在の実績やJAひろおの計画との整合性を図るため、目標値を修正。				

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. 第6次産業化（経営多角化）を支援する。（主体：各生産者等） 生産者等が加工・商品開発・流通販売までを手掛ける第6次産業化を支援し、良質な生乳を原料とした安心安全な広尾産オリジナル乳製品（チーズ、アイスクリームなど）の販売に向けた商品開発の取組を推進する。 2. 酪農家の労働時間を短縮する取組を推進する。（主体：農協） ICTの導入などによる作業の省力化、分業化、公共牧場の機能強化、雇用労働者（外国人を含む）の確保、酪農ヘルパー不足の解消など、複合的に解決策を講じることにより、酪農家の労働時間を短縮させる。 3. 農村環境の維持に向けて家族経営を支援する。（主体：町、農協） 北海道ならではの農村風景や、家族経営農家による農村集落形成など、農村地域の多面的機能の発揮に欠かせない小中規模の酪農経営を守るため、あらゆる面から支援する。 4. 多様な新規就農を支援する体制を構築する。（主体：町、農協） 酪農畜産はもとより、多様な経営体の受け皿を広げるため、研修から就農、定着まで一貫した支援体制を構築する。また、<u>将来、独立して就農をめざす人が農業法人や酪農ヘルパー組織へ就職するための支援、中高年世代や障がい者、外国人など多様な人材の雇用就農者としての参入環境を整備する。</u>	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） 4. 第6次産業化（経営多角化）を支援する。（主体：各生産者等） 生産者等が自家製の高品質な生乳を原料とした乳製品（チーズ、アイスクリームなど）を開発・販売することで、生乳の付加価値を高める取組を支援する。 （継続的事業へ移行） （継続的事業へ移行） 3. 多様な新規就農を支援する体制を構築する。（主体：町、農協） 酪農畜産はもとより、多様な経営体の受け皿を広げるため、研修から就農、定着まで一貫した支援体制を構築する。また、<u>地域おこし協力隊制度を活用するなど、独立して就農をめざす人や農業法人、酪農ヘルパー組織へ就職を希望する方への支援、中高年世代や障がい者、外国人など多様な人材の雇用就農者としての参入環境を整備する。</u>	※事業掲載順を修正 取組の進捗状況等を踏まえて取組内容を修正 取組の進捗状況等を踏まえて取組内容を修正

現行	見直し後	摘要
5. 家畜ふん尿を資源として有効活用する。(主体：農協、町) バイオガスプラントの整備を検討するなど、家畜ふん尿の環境にやさしいバイオマスエネルギーとしての有効活用を図る。 <関連する重点プロジェクト> ②「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト ■<u>10年間で継続して取り組むもの</u>(継続的事業) 1. 将来を担う農業者の確保を図る。 (主体：町、農協、担い手育成センター) 2. 農業所得の安定的な拡大を図る。(主体：農協、町) 3. 農業生産基盤の整備と強化を図る。(主体：町、農協) 4. 安全安心な農畜産物の生産と販売促進を図る。 (主体：農協、各生産団体等)	(項目を併合) <u>1. 家畜伝染病対策を強化する。(主体：町、農協、各関係機関)</u> <u>大きな課題となっている家畜伝染病対策について、町や農協、関係機関等が連携し、家畜防疫対策緊急プロジェクトチームを中心として、発生農場への指導及び助言を行い、早期清浄化並びに防疫対策を強化する。</u> <u>2. 有害鳥獣対策を強化する。(主体：町、農協、猟友会)</u> <u>有害鳥獣による農業被害などの防止に向けて、侵入防止、環境整備、捕獲など効果的な対策を継続的に講じる。</u> <関連する重点プロジェクト> ②「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト ■<u>_____</u>継続して取り組むもの(継続的事業) 1. 将来を担う農業者の確保を図る。 (主体：町、農協、担い手育成センター) 2. 農業所得の安定的な拡大を図る。(主体：農協、町) 3. 農業生産基盤の整備と強化を図る。(主体：町、農協) 4. 安全安心な農畜産物の生産と販売促進を図る。 (主体：農協、各生産団体等)	ヨーネ病が終息していない現状では、当初想定していた集中処理施設の推進は困難であることから、継続事業5と併合する 現在の状況等を踏まえて取組を追加 継続的事業6を重点事業へ移行(農業被害防止と家畜伝染病予防対策として重点事業とするもの) ※事業掲載順を修正

現行	見直し後	摘要
5. 家畜ふん尿の適正処理など、環境に配慮した持続可能な資源循環型農業を確立する。(主体：町、農協、各農家) 6. <u>有害鳥獣による農業被害の防止に向けて効果的な対策を講じる。</u> (主体：町、農協、猟友会) 7. <u>農村の価値を再認識し、都市部の住民や次代を担う子どもたちにその魅力を伝えるため、子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する。</u>(主体：ホームステイ受入協議会)	5. 家畜ふん尿の適正処理など、環境に配慮した持続可能な資源循環型農業を確立するとともに、<u>バイオマスエネルギーとしての活用についても調査・研究を進める。</u>(主体：町、農協、各農家) (重点事業へ移行) 8. <u>農村の価値を再認識し、都市部の住民や次代を担う子どもたちにその魅力を伝えるため、子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する。</u>(主体：ホームステイ受入協議会) 6. <u>酪農家の労働時間を短縮する取組を推進する。</u>(主体：農協) 7. <u>農村環境の維持に向けて家族経営を支援する。</u>(主体：町、農協)	短期事業5と合わせた内容に整理 短期的事業から移行 短期的事業から移行

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	1	政策	1	施策	③ 林業の振興	担当課・係	農林課農政林務係

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
町民の森づくり事業への参加者数【単年】	人	二	20	50	町民の森づくり事業への参加者数【単年】	人	156 (R5)		200
木材製材加工場の誘致	二	二	誘致実現	流通拡大	広尾町産材の流通拡大	二	二 (R6)		コンテナ移出の実現
国有林を除く森林整備面積(間伐等)【単年】	ha	50	50	50	国有林を除く町有林及び私有林の森林整備面積(間伐等)【単年】	ha	149 (R5)		200
伐採跡地を含む無立木地面積	ha	500	300	100	伐採跡地を含む無立木地面積	ha	371 (R5)		250
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
国有林を除く森林整備率(間伐等)	%	25	45	70	国有林を除く町有林及び私有林の森林整備率(間伐等)	%	34 (R5)		70
伐採跡地を含む無立木地の解消率	%	20	30	40	伐採跡地を含む無立木地の解消率	%	24 (R5)		60
					(見直し理由) (町民の森づくり事業への参加者数) ・現在の事業実施状況を踏まえ、目標を上方修正する。 (広尾町産材の流通拡大) ・短期事業の見直しに伴い、指標を変更する。 (国有林を除く森林整備面積(間伐等)) ・算定基礎に私有林も加えることが妥当であることから、指標を変更する。				

現行		見直し後	
		(見直し理由) (伐採跡地を含む無立木地面積) ・現在の事業実施状況を踏まえ、目標を下方修正する。 (国有林を除く森林整備率(間伐等)) ・算定基礎に私有林も加えることが妥当であることから、指標を変更する。 (伐採跡地を含む無立木地の解消率) ・関連する活動指標と整合性を図るため、目標値を精査した。	
現行	見直し後	摘要	
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの(短期的事業) 1. 木育事業「町民の森づくり」を実施する。(主体:町、森林組合) 森林の役割や効能、町の林業に関する町民の理解を深めるため、一般町民が参加可能な植樹を継続して実施し、町民のふれあい空間となる「町民の森」を創る。あわせて、親子や若者などをターゲットとした森づくり活動に親しむ体験事業(薪割り体験、木工教室など)を開催する。 2. 木材加工製品(集成材)の生産と流通拡大を図る。 (主体:町、森林組合) <u>従来、原木のまま出荷していた町内産の木材を利用価値の高い集成材として製材・加工する工場を町内に誘致する。地元利用のみならず、都市部や外国への販路拡大も視野に入れて、その流通拡大に努める。</u>	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの(重点事業) (継続的事业へ移行) 2. 木材加工製品の生産と流通拡大を図る。 (主体:町、森林組合) <u>原木も含めたコンテナ船航路を活かした道外への移出の実現と、町内事業所への加工設備の強化支援を図る。</u>	集成材工場の誘致が不調に終わり、新たな誘致先を見つけることは困難であることから、「集成材」の文言を削除し、取組内容を修正。	

現行	見直し後	摘要
■10年間で継続して取り組むもの（継続的事業） 1. 森林整備の推進を図る。（主体：町、森林組合、森林所有者） 2. 無立木地の解消に努める。（主体：町、森林組合、森林所有者） 3. 保育施設などに木のおもちゃ(森の輪)を贈呈し、木育の推進を図る。 （主体：町、森林組合） 4. 林業の担い手確保に向けて関係団体や各種学校と連携し取り組む。 （主体：町、森林組合） 5. 鳥獣被害による林業被害の防止に向けて効果的な対策を講じる。 （主体：町、森林組合、猟友会）	1. <u>集いの杜プロジェクト（廃校舎を活用した交流拠点の創出）を推進する。（主体：町、森林組合、各関係機関）</u> <u>広尾産木材の価値を高め、「広尾サンタランドウッド」の普及啓発に努めるとともに、林業や森林整備について学ぶ機会を作るなど木育を推進する。また、林業に対する多くの人の関心を高めるため、交流拠点（集いの杜）において町民の憩いの場と魅力的なイベントを開催するとともに、人材育成にも取り組む。プロジェクトの推進体制については、地域プロジェクトマネージャーを採用し、プロジェクト全体のマネジメントを行う。集いの杜の施設は民間による管理を目指し、将来に向けて持続可能な管理体制を確立する。</u> ■ _____ 継続して取り組むもの（継続的事業） 1. 森林整備の推進を図る。（主体：町、森林組合、森林所有者） 2. 無立木地の解消に努める。（主体：町、森林組合、森林所有者） 3. 保育施設などに木のおもちゃ(森の輪)を贈呈し、木育の推進を図る。（主体：町、森林組合） 4. 林業の担い手確保に向けて関係団体や各種学校と連携し取り組む。（主体：町、森林組合） 5. 鳥獣被害による林業被害の防止に向けて効果的な対策を講じる。 （主体：町、森林組合、猟友会） 6. <u>木育事業「町民の森づくり」を実施する。（主体：町、森林組合）</u>	事業の取組状況等を踏まえ、新たに追加するもの 短期的事業から移行

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	1	政策	2	施策	① 商工業の振興	担当課・係	水産商工観光課商工観光係

現行					見直し後																									
成果目標					成果目標																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし</th> <th>単位</th> <th>現状 (令和元年度)</th> <th>中間目標 (5年後：R7年度)</th> <th>最終目標 (10年後：R12年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新たな特産品として商品化（ブランド化）した商品の種類【累計】</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>買い物支援サービスの構築</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>着手済・試行中</td> <td>構築済</td> </tr> </tbody> </table>					活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	新たな特産品として商品化（ブランド化）した商品の種類【累計】	種類	—	5	10	買い物支援サービスの構築	—	—	着手済・試行中	構築済	※見直し項目なし										
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)																										
新たな特産品として商品化（ブランド化）した商品の種類【累計】	種類	—	5	10																										
買い物支援サービスの構築	—	—	着手済・試行中	構築済																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし</th> <th>単位</th> <th>現状 (令和元年度)</th> <th>中間目標 (5年後：R7年度)</th> <th>最終目標 (10年後：R12年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間商品販売額（経済センサス）【単年】</td> <td>百万円</td> <td>(H28)8,348</td> <td>(R3) 8,350</td> <td>(R8) 8,000</td> </tr> <tr> <td>年間製造品等出荷額（経済センサス）【単年】</td> <td>百万円</td> <td>(H28)9,228</td> <td>(R3) 10,000</td> <td>(R8) 11,000</td> </tr> <tr> <td>サンタクラブカードの町民保有率</td> <td>%</td> <td>51.3</td> <td>60.0</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>個人版ふるさと納税寄附額【単年】</td> <td>百万円</td> <td>97</td> <td>150</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>					成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	年間商品販売額（経済センサス）【単年】	百万円	(H28)8,348	(R3) 8,350	(R8) 8,000	年間製造品等出荷額（経済センサス）【単年】	百万円	(H28)9,228	(R3) 10,000	(R8) 11,000	サンタクラブカードの町民保有率	%	51.3	60.0	70.0	個人版ふるさと納税寄附額【単年】	百万円	97	150	200	
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)																										
年間商品販売額（経済センサス）【単年】	百万円	(H28)8,348	(R3) 8,350	(R8) 8,000																										
年間製造品等出荷額（経済センサス）【単年】	百万円	(H28)9,228	(R3) 10,000	(R8) 11,000																										
サンタクラブカードの町民保有率	%	51.3	60.0	70.0																										
個人版ふるさと納税寄附額【単年】	百万円	97	150	200																										

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. 担い手（経営者、従業員）の育成・確保に努める。 （主体：町、商工会） 後継者がおらず経営の継続が難しい経営体に対し、事業承継に向けた支援（情報集約、マッチング、人材育成など）や、空き店舗を活用した新規創業への支援などを行い、担い手の育成・確保に努める。 2. 集客に向けた情報発信を強化する。（主体：商工会） 町内商店等のおすすめ商品や特売の情報、求人情報などを商工会が集約して、町外向けにはインターネットを活用し、町民向けには合同チラシを発行するなど、町内外からの集客増に向けて定期的・継続的に情報発信を行うほか、外国船の乗組員や、飼料・石炭を運ぶ大型トラックの運転手などの労働者が町内の商店などに立ち寄りやすい環境の整備と情報発信の充実を図る。 3. サービスや商品の特色や魅力を高める。 （主体：商工会、農協、漁協、事業者） 広尾ならではのサービスや商品についての外部意見をとり入れ、その特色や魅力にさらに磨きをかけるとともに、各産業経済団体の連携による特産品の商品化や地域ブランドの確立など、稼げるサービスや商品を創る。 4. 買い物便利事業（買い物支援サービス）の実施を検討する。 （主体：商工会、商店） 地域内消費を促進するため、買い物弱者が町内で便利に買い物をすることができるよう、町内商店による宅配サービスの拡大を図るとともに、買い物代行サービスや共同による移動販売の導入など、買い物支援サービスの構築を図る。	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） 1. 担い手（経営者、従業員）の育成・確保に努める。 （主体：町、商工会） 後継者がおらず経営の継続が難しい経営体に対し、事業承継に向けた支援（情報集約、マッチング、人材育成など）や、空き店舗を活用した新規創業への支援などを行い、担い手の育成・確保に努める。 （継続的事業へ移行） （継続的事業へ移行） （継続的事業へ移行）	同一内容で後期の重点事業へ登載する。

現行	見直し後	摘要
<関連する重点プロジェクト> ①広尾の魅力発信プロジェクト ②「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト ⑦買い物利便性向上プロジェクト ⑧空き家再生プロジェクト ■<u>10年間で継続して取り組むもの（継続的事業）</u> <u>1. 「サンタクラブカード」の利用促進を図る。</u> (主体：商工協同組合) <u>2. 各事業所の経営の改善・安定化に努める。</u>（主体：商工会）	<u>2. 新しい「サンタクラブカード」の仕組みづくりと利用促進を図る。</u>（主体：商工協同組合、町） <u>既存の「サンタクラブカード」をスマホアプリ化やキャッシュレス対応など、より使いやすい仕組みで再構築する。また行政ポイント等と連携し、多様な使用方法による地域への浸透や利用促進を図る。</u> <関連する重点プロジェクト> ①広尾の魅力発信プロジェクト ②「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト ⑦買い物利便性向上プロジェクト ⑧空き家再生プロジェクト ■<u>_____</u>継続して取り組むもの（継続的事業） <u>1. 各事業所の経営の改善・安定化に努める。</u>（主体：商工会） <u>2. 集客に向けた情報発信を強化する。</u>（主体：商工会） <u>3. サービスや商品の特色や魅力を高める。</u> (主体：商工会、農協、漁協、事業者) <u>4. 買い物便利事業（買い物支援サービス）の実施を検討する。</u> (主体：商工会、商店)	取組の進捗状況等を踏まえ、継続的事業から移行 内容を修正し、重点事業へ移行 事業番号の繰り上げ 短期的事業から移行 短期的事業から移行 短期的事業から移行

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	1	政策	2	施策	② 観光・サンタランドの振興	担当課・係	水産商工観光課商工観光係・サンタランド係

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
観光協会ウェブサイトの構築	—	—	構築済	構築済	観光協会ウェブサイトの構築	—	—	構築済	構築済
サンタランドを盛り上げる新たな民間団体の設立	—	—	設立済	設立済	サンタランドを盛り上げる新たな民間団体の設立	—	—	設立済	設立済
体験型観光プログラムの数【累計】	—	7	15	20	体験型観光プログラムの数【累計】	—	7	15	20
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
サンタメール申込み通数【単年】	通	15,326	17,000	20,000	サンタカード申込み通数【単年】	通	15,326	17,000	20,000
サンタクロス展応募点数【単年】	点	30	40	50	(削除)				
大丸山森林公園への年間来場者数【単年】	人	26,179	30,000	30,000	大丸山森林公園への年間来場者数【単年】	人	49,116 (R6)		60,000
※現状は、「鮭さばき・イクラ造り」「きのご狩り」「昆布干し」「野菜収穫」（以上、地域おこし協力隊員開発メニュー）、「カッティングボード作り」「サーフィン教室」「ログハウスで農村体験」（以上、ドコ？ソコ！とんがり掲載メニュー）の7つ					※現状は、「鮭さばき・イクラ造り」「きのご狩り」「昆布干し」「野菜収穫」（以上、地域おこし協力隊員開発メニュー）、「カッティングボード作り」「サーフィン教室」「ログハウスで農村体験」（以上、ドコ？ソコ！とんがり掲載メニュー）の7つ				
					(見直し理由) (サンタクロス展応募点数) ・商工会が実施していた事業だったが、令和2年度で事業が終了しているため、削除する。 (大丸山森林公園への年間来場者数) ・現状の入込数を踏まえ、目標を上方修正する。				

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. 情報発信力を強化する。（主体：観光協会、町、商工会） まちを訪れる人が観光情報を手軽に入手することができるよう、パンフレットなどの紙媒体や、インターネット、看板広告、観光案内拠点の創設など、あらゆる方法を駆使して情報発信を行う。 2. 体験型観光を充実させる。 （主体：観光協会、ピロロツーリズム推進協議会） 交流人口や関係人口の増加を図るため、第一次産業や農山漁村環境など、まちの資源を最大限に生かした宿泊型体験プログラムを創出する。また、実施主体の法人化により継続的に実施する体制を整える。 3. サンタランドを盛り上げる民間団体を育成する。 （主体：町、団体） サンタランドの基本理念に則り、その精神を町民はじめ多くの人に広めることを目的としたボランティア団体や、民間主導でサンタランド関連の取組を企画・実施する団体の育成を図る。	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） （継続的事業へ移行） （継続的事業へ移行） （継続的事業へ移行） 1. <u>日高山脈襟裳十勝国立公園の景観を活用し、交流人口の増加を図る。（主体：町、観光協会、商工会）</u> <u>大丸山森林公園に設置した日高山脈側に向けた展望台を活用した観光誘致の情報発信を積極的に行う。また、十勝6市町村で構成する日高山脈観光連携協議会を活用した幅広いプロモーションを実施する。</u>	令和6年6月の国立公園指定を受けて、取組を追加

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	1	政策	2	施策	③ 企業誘致・起業支援	担当課・係	企画課企画防災係・水産商工観光課 商工観光係

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし					※見直し項目なし				
単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)						
空き地・空き店舗・空き家等情報データベースの構築	—	着手済	構築済						
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし									
単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)						
進出企業数【累計】	件	—	1	2					
新規起業件数【単年】	件	—	3	3					

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. 空き地や空き店舗、空き家などの情報データベースを構築する。 （主体：町） 港湾用地や町内の空き地、空き店舗、空き家など、企業進出や起業が可能な物件の情報をデータベース化するとともに、参入や起業を検討する企業や個人などに広尾町の優位性などとともに積極的に情報提供する体制を整える。	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） 1. 空き地や空き店舗、空き家などの情報データベースを構築する。 （主体：町） 港湾用地や町内の空き地、空き店舗、空き家など、企業進出や起業が可能な物件の情報をデータベース化するとともに、参入や起業を検討する企業や個人などに広尾町の優位性などとともに積極的に情報提供する体制を整える。	同一内容で後期の重点事業へ登載する。

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	1	政策	2	施策	④ 雇用・労働者対策の推進	担当課・係	企画課企画防災係・保健福祉課福祉係・水産商工観光課商工観光係

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし					※見直し項目なし				
多様な人材（高齢者、障がい者、外国人など）を労働者として受け入れる体制の整備	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)					
—	—	—	整備済	整備済					
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし									
労働を伴う短期滞在者数【単年】	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)					
—	人	—	3	5					
起業家等支援事業を通じた起業による新規雇用者数【累計】	単位	現状 (H27～30)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)					
—	人	13	40	65					

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. 町外の人材や高齢者などを労働者として受け入れる取組を実施する。（主体：商工会、 <u>漁協、農協、森林組合、町</u> ） <u>人材が不足する職種について、協議会組織を立ち上げるなど、求人情報を一元化し、町外の人材（外国人を含む）などに向けて情報発信することにより労働者として確保する体制を整える。また、高齢者や障がい者の雇用を積極的に推進する。</u>	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） 1. 町外の人材や高齢者などを労働者として受け入れる取組を実施する。（主体：商工会、町） <u>求人情報を一元化した「広尾しごと」の内容を充実させ、町外の人材（外国人を含む）などに向けて情報発信することにより労働者として確保する体制を整える。また、高齢者や障がい者の雇用を積極的に推進する。</u>	取組の進捗状況等を踏まえ、取組内容を修正

現行	見直し後	摘要
2. 移住体験などと組み合わせた短期労働体験事業を実施する。 (主体：町、各事業所) 移住を検討する働く世代や、シーズンステイでの副業を検討する方、夏休み中の大学生、産業への従事を検討する女性などを対象に、移住体験などと組み合わせた短期間の労働体験事業を実施する。また、実施に向けた総合的な受入体制や受入環境を整えるとともに、情報発信を強化する。	(継続的事业へ移行) ■ <u>継続して取り組むもの(継続的事业)</u> <u>1. 移住体験などと組み合わせた短期労働体験事業を実施する。</u> (主体：町、各事業所) <u>2. 若者の定住及び就業の促進、雇用の確保を図るため、奨学金返還に対する支援を行う。</u> (主体：町)	短期的事業から移行 新たに事業を開始したことによる新規追加

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	1	政策	2	施策	⑤ 十勝港の整備と利活用の推進	担当課・係	港湾課管理係・振興係

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
定期航路の開設数【累計】	—	—	1	1	定期航路の開設数【累計】	—	1 (R6)		2
地元企業による事業場の増設数【累計】	棟	—	2	4	地元企業による事業場の増設数【累計】	棟	—	2	4
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
貨物取扱量【単年】	万トン	145	155	155	貨物取扱量【単年】	万トン	145	155	155
					(見直し理由) (定期航路の開設数) ・令和6年度に定期航路が開設されたため、目標を上方修正する。				

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. 定期航路の開設に向けた取組を推進する。（主体：町） 十勝港の機能を向上させ、農業王国「十勝」を背後圏とするアグリポートの物流拠点としての優位性を高めることにより、ROR船など定期航路の開設に向けた取組を推進する。 2. 港湾内輸送の自動運転技術の導入を検討する。 （主体：町、港湾事業者） 港湾内の輸送のコストダウンを図るため、自動運転技術の導入を検討する。	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） （継続的事業へ移行） （継続的事業へ移行）	

現行	見直し後	摘要
3. 緑地を町民に親しみのある空間（親水空間）として活用するなど、海洋レクリエーション施設としての周知を図る。（主体：町） 緑地・レクリエーションゾーンを中心に、町民や町外から訪れる人が港に親しみを持つことができるよう、様々な催しの企画を支援するとともに、レクリエーション施設としての周知を図る。 ■10年間で継続して取り組むもの（継続的事業） 1. 港湾の整備（航路、泊地の浚渫、物揚場など）を進める。（主体：町） 2. 客船・官庁船の積極的な入港を要請する。（主体：町） 3. 地元港湾関連事業者による事業拡大を促進し、町内経済の活性化を図る。（主体：町、商工会）	（継続的事業へ移行） <u>1. 定期コンテナ航路の利活用促進に向けた取組を推進する。</u> （主体：町、港湾事業者） <u>京浜港との間に開設された定期コンテナ航路の維持・発展に向けた施設整備や、コンテナ貨物取扱量の増加に向けたポートセールの取組を推進する。また、北海道初の産直港湾（農林水産物の輸出促進に取り組む計画が国から認定された港湾）として、十勝産を中心とした農畜産品の輸出促進を図る。</u> ■ _____ 継続して取り組むもの（継続的事業） 1. 港湾の整備（航路、泊地の浚渫、物揚場など）を進める。（主体：町） 2. 客船・官庁船の積極的な入港を要請する。（主体：町） 3. 地元港湾関連事業者による事業拡大を促進し、町内経済の活性化を図る。（主体：町、商工会） 4. <u>定期航路の開設に向けた取組を推進する。（主体：町）</u> 5. <u>港湾内輸送の自動運転技術の導入を検討する。</u> 6. <u>緑地を町民に親しみのある空間（親水空間）として活用するなど、海洋レクリエーション施設としての周知を図る。（主体：町）</u>	令和6年度に定期航路が開設されたことによる項目の追加 短期的事業から移行 短期的事業から移行 短期的事業から移行